

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月12日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岩崎 雅信
 問合せ先責任者 (役職名)管理部課長 (氏名)谷本 祐二 (TEL)06-6120-2001
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,473	0.9	100	—	189	44.6	155	—
2020年3月期	7,410	0.6	△12	—	131	9.7	△18	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	25.07	—	5.9	4.0	1.3
2020年3月期	△2.96	—	△0.7	2.9	△0.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,014	2,870	57.2	461.89
2020年3月期	4,380	2,447	55.9	393.83

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,870百万円 2020年3月期 2,447百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	167	△10	141	1,441
2020年3月期	365	△78	△204	1,143

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00	37	23.9	1.4
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00		37.3	

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	11.4	50	△10.4	75	△27.3	50	△34.3	8.04
通期	8,000	7.0	100	0.0	150	△21.0	100	△35.8	16.09

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	6,228,039 株	2020年3月期	6,228,039 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	13,717 株	2020年3月期	13,233 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	6,214,631 株	2020年3月期	6,215,013 株

発行済株式数に関する注記

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2（1）当期の経営成績の概況をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	10
(4) キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(修正再表示)	13
(セグメント情報等)	13
(持分法損益等)	16
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期の日本経済は、新型コロナウイルスの感染拡大や米中貿易問題による世界経済の先行き不透明感に加え感染拡大に伴う外出自粛による個人消費の冷え込み、国内においても生産活動の停滞、個人消費の失速、雇用環境の悪化など経済活動は落ち込み、依然として厳しい状況が続きました。一部の国ではワクチン接種が進んだことに伴い経済活動を徐々に再開する動きがあり、世界経済全般としてはコロナ危機からの回復傾向が続いたとみられます。

このような状況の中、当社におきましては、新型コロナウイルスの一部影響もありましたが、営業収入に関しましては前年比と概ね同水準となっており、営業利益は前年比で大きく増加しました。これは人件費の減少及び営業経費の抑制等によるものです。

以上の結果、当期における営業収入は前期比+63,228千円(+0.9%)の7,473,942千円となりました。営業利益は100,093千円(前年同期は営業損失△12,679千円)となりました。経常利益は前期比+58,546千円(+44.6%)の189,893千円となりました。当期純利益は、155,816千円(前年同期は当期純損失△18,379千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

1. 港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、前期比+71,842千円(+1.0%)の7,236,327千円で、全セグメントの96.6%を占めております。

新型コロナウイルス感染の影響等も一部ありましたが、経費等の抑制によりセグメント利益(営業利益)は、前期比+41,961千円(+11.5%)の408,040千円となりました。

2. 自動車運送事業

当セグメントにおきましては、料金見直しによりセグメント利益は回復傾向にあります。

この結果、営業収入は、前期比△10,022千円(△4.1%)の232,426千円で、全セグメントの3.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、前期比+5,440千円の、11,013千円となりました。

3. その他

当セグメントにおきましては、海上保険収入が回復傾向にあります。

この結果、営業収入は、前期比+1,408千円(+37.3%)の5,188千円で、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、前期比+1,416千円(+38.2%)の5,125千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における流動資産は、前事業年度末より419,061千円増加して2,854,167千円となりました。これは現金及び預金の増加297,970千円、営業未収入金の増加58,380千円、立替金の増加109,095千円、その他の減少54,095千円等によるものであります。

当事業年度末における固定資産は、前事業年度末より214,489千円増加して2,159,927千円となりました。これは機械及び装置（純額）の増加59,594千円、投資有価証券の増加275,219千円、のれんの減少27,931千円等によるものであります。

当事業年度末における繰延資産は、前事業年度末より242千円減少となりました。これは社債発行費の減少242千円によるものであります。

当事業年度末における流動負債は、前事業年度末より45,247千円増加して1,327,091千円となりました。これは、営業未払金の増加63,218千円、未払費用の増加15,951千円、1年内返済予定の長期借入金の減少28,660千円等によるものであります。

当事業年度末における固定負債は、前事業年度末より165,362千円増加して816,701千円となりました。これは長期借入金の増加208,294千円、退職給付引当金の減少29,339千円等によるものであります。

当事業年度末における純資産は、前事業年度末より422,696千円増加して2,870,302千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加155,816千円、その他有価証券評価差額金の増加267,013千円等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動により167,362千円、投資活動により△10,495千円、財務活動により141,104千円となりました。この結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末比+297,970千円の1,441,928千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

167,362千円（前期は365,171千円）でありました。これは、税引前当期純利益199,214千円および減価償却費81,211千円の計上、売上債権54,925千円、立替金109,095千円の増加が主な要因となっています。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

△10,495千円（前期は△78,652千円）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入336,761千円、投資有価証券の取得による支出281,776千円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

141,104千円（前期は△204,975千円）となりました。これは、長期借入金の返済による支出620,366千円、長期借入金による収入800,000千円等に起因するものです。

(4) 今後の見通し

当期は新型コロナウイルス感染症の影響による輸送低迷等の影響もありましたが営業収入については堅調に推移しました。変異株による新型コロナウイルス感染症の世界的拡大が懸念される状況の中で、一部の国ではワクチン接種も進んだことに伴い輸送需要も回復傾向にあり、次期においては荷動きの増加が期待されるものの厳しい状況が続くと思われれます。

当社といたしましては、固定費の削減の意識を継続しながら、高付加価値、高収益を目指したSCM（サプライチェーンマネジメント）を構築し、業績の発展を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は非連結決算であり、また、海外への売上比率及び外国人の持株比率が低いことから、当面日本基準を継続適用する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,143,957	1,441,928
受取手形	4,309	854
営業未収入金	748,552	806,932
前払費用	31,277	42,160
立替金	449,739	558,835
その他	60,135	6,040
貸倒引当金	△2,867	△2,585
流動資産合計	2,435,105	2,854,167
固定資産		
有形固定資産		
建物	870,481	870,766
減価償却累計額	△751,673	△765,262
建物（純額）	118,808	105,504
構築物	28,564	28,564
減価償却累計額	△25,886	△26,169
構築物（純額）	2,678	2,395
機械及び装置	106,849	115,297
減価償却累計額	△105,307	△54,160
機械及び装置（純額）	1,541	61,136
車両運搬具	679,238	654,141
減価償却累計額	△608,035	△609,778
車両運搬具（純額）	71,202	44,362
工具、器具及び備品	123,591	131,354
減価償却累計額	△117,783	△121,398
工具、器具及び備品（純額）	5,808	9,955
リース資産	57,339	56,856
減価償却累計額	△34,256	△43,135
リース資産（純額）	23,083	13,720
土地	576,183	576,183
有形固定資産合計	799,306	813,258
無形固定資産		
のれん	195,517	167,586
ソフトウェア	46,235	30,831
その他	4,188	4,188
無形固定資産合計	245,940	202,605

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	689,471	964,690
出資金	7,618	7,618
長期貸付金	85,000	85,000
破産更生債権等	1,215	1,215
長期前払費用	410	33
繰延税金資産	22,190	4,820
固定化営業債権	255,959	227,441
その他	80,189	79,673
貸倒引当金	△241,862	△226,428
投資その他の資産合計	900,192	1,144,064
固定資産合計	1,945,438	2,159,927
繰延資産		
社債発行費	242	—
繰延資産合計	242	—
資産合計	4,380,787	5,014,095
負債の部		
流動負債		
支払手形	39,754	44,242
営業未払金	560,883	624,102
1年内償還予定の社債	26,350	—
1年内返済予定の長期借入金	455,054	426,394
リース債務	11,942	9,480
未払金	28,805	40,173
未払費用	28,434	44,385
未払法人税等	28,235	39,652
預り金	23,466	28,833
賞与引当金	49,880	50,800
その他	29,037	19,027
流動負債合計	1,281,843	1,327,091
固定負債		
長期借入金	397,077	605,371
リース債務	14,478	6,200
退職給付引当金	226,745	197,405
その他	13,037	7,724
固定負債合計	651,338	816,701
負債合計	1,933,181	2,143,792

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	14,296	14,296
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	216,947	372,764
利益剰余金合計	231,244	387,060
自己株式	△11,890	△12,023
株主資本合計	2,666,226	2,821,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△218,621	48,392
評価・換算差額等合計	△218,621	48,392
純資産合計	2,447,605	2,870,302
負債純資産合計	4,380,787	5,014,095

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収入	7,410,713	7,473,942
営業原価	7,007,425	7,021,831
営業総利益	403,287	452,110
販売費及び一般管理費		
役員報酬	65,720	56,250
従業員給料	79,362	54,065
賞与引当金繰入額	3,570	1,819
退職給付費用	3,530	1,337
福利厚生費	25,773	23,411
賃借料	7,750	7,937
租税公課	29,612	29,373
貸倒引当金繰入額	12,576	△14,631
減価償却費	19,885	18,171
交際費	3,484	1,561
のれん償却額	27,931	27,931
その他	136,769	144,790
販売費及び一般管理費合計	415,966	352,016
営業利益	△12,679	100,093
営業外収益		
受取利息	30	64
受取配当金	25,672	31,246
為替差益	5,663	81
受取手数料	7,357	7,393
受取賃貸料	20,760	18,280
受取家賃	72,935	26,520
貸倒引当金戻入額	18,000	—
雇用調整助成金	—	17,895
雑収入	21,513	14,989
営業外収益合計	171,932	116,469
営業外費用		
支払利息	9,629	9,495
社債利息	246	68
賃貸費用	10,846	11,532
支払手数料	4,762	4,348
雑損失	2,419	1,225
営業外費用合計	27,905	26,669
経常利益	131,347	189,893

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	9,698	18,126
投資有価証券売却益	26,888	26,049
特別利益合計	36,587	44,175
特別損失		
固定資産売却損	—	274
固定資産除却損	678	—
投資有価証券売却損	81,103	34,580
投資有価証券評価損	60,002	—
特別損失合計	141,784	34,854
税引前当期純利益	26,149	199,214
法人税、住民税及び事業税	38,785	43,830
法人税等調整額	5,744	△432
法人税等合計	44,529	43,398
当期純利益	△18,379	155,816

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	2,394,398	52,473	52,473	12,432	255,837	268,269
当期変動額						
剰余金の配当				1,864	△20,510	△18,645
当期純利益					△18,379	△18,379
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	1,864	△38,889	△37,025
当期末残高	2,394,398	52,473	52,473	14,296	216,947	231,244

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・ 換算差額等 合計	
当期首残高	△11,779	2,703,363	△219,935	△219,935	2,483,427
当期変動額					
剰余金の配当		△18,645			△18,645
当期純利益		△18,379			△18,379
自己株式の取得	△111	△111			△111
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			1,314	1,314	1,314
当期変動額合計	△111	△37,136	1,314	1,314	△35,822
当期末残高	△11,890	2,666,226	△218,621	△218,621	2,447,605

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計		繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	2,394,398	52,473	52,473	14,296	216,947	231,244
当期変動額						
剰余金の配当					—	—
当期純利益					155,816	155,816
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	155,816	155,816
当期末残高	2,394,398	52,473	52,473	14,296	372,764	387,060

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・ 換算差額等 合計	
当期首残高	△11,890	2,666,226	△218,621	△218,621	2,447,605
当期変動額					
剰余金の配当		—			—
当期純利益		155,816			155,816
自己株式の取得	△132	△132			△132
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			267,013	267,013	267,013
当期変動額合計	△132	155,683	267,013	267,013	422,696
当期末残高	△12,023	2,821,910	48,392	48,392	2,870,302

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	26,149	199,214
減価償却費	90,216	81,211
のれん償却額	27,931	27,931
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,412	△15,715
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,453	920
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27,974	△29,339
受取利息及び受取配当金	△25,702	△31,310
支払利息	9,876	9,563
為替差損益 (△は益)	654	△21
有形固定資産除却損	678	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△9,698	△17,851
投資有価証券売却損益 (△は益)	54,214	8,530
投資有価証券評価損益 (△は益)	60,002	—
売上債権の増減額 (△は増加)	42,019	△54,925
仕入債務の増減額 (△は減少)	△47,907	67,706
立替金の増減額 (△は増加)	82,652	△109,095
その他の資産の増減額 (△は増加)	33,334	18,430
その他の負債の増減額 (△は減少)	9,361	23,425
小計	374,800	178,673
利息及び配当金の受取額	25,702	31,310
利息の支払額	△10,105	△9,601
法人税等の支払額	△25,225	△33,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	365,171	167,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,661	△79,094
有形固定資産の売却による収入	9,698	18,926
投資有価証券の取得による支出	△493,894	△281,776
投資有価証券の売却による収入	438,177	336,761
無形固定資産の取得による支出	△850	—
その他の支出	△5,292	△5,312
その他の収入	18,169	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,652	△10,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△627,454	△620,366
社債の償還による支出	△47,050	△26,350
自己株式の取得による支出	△111	△132
配当金の支払額	△18,586	△105
リース債務の返済による支出	△11,773	△11,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,975	141,104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	81,542	297,970
現金及び現金同等物の期首残高	1,062,415	1,143,957
現金及び現金同等物の期末残高	1,143,957	1,441,928

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は統括本部において港湾運送事業を統括し、国内本部において自動車運送事業を統括しております。「港湾運送事業」は港湾運送輸出・輸入業、近海輸送業、港湾荷役業、倉庫業を含んでおります。「自動車運送事業」は、海上コンテナ輸送、フェリー輸送、トラック輸送を含んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントごとの会計処理の方法は「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	港湾運送 事業	自動車運送 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,164,485	242,448	7,406,933	3,779	7,410,713	—	7,410,713
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,265,779	444,691	1,710,470	—	1,710,470	△1,710,470	—
計	8,430,265	687,139	9,117,404	3,779	9,121,184	△1,710,470	7,410,713
セグメント利益 又は損失(△)	366,078	5,572	371,651	3,708	375,360	△388,039	△12,679
セグメント資産	4,224,962	154,984	4,379,947	840	4,380,787	—	4,380,787
その他の項目							
減価償却費	66,154	23,859	90,013	8	90,022	—	90,022

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、△388,039千円は全社費用であり、その内容は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	港湾運送 事業	自動車運送 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,236,327	232,426	7,468,754	5,188	7,473,942	—	7,473,942
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,266,086	470,574	1,736,660	—	1,736,660	△1,736,660	—
計	8,502,413	703,000	9,205,414	5,188	9,210,602	△1,736,660	7,473,942
セグメント利益	408,040	11,013	419,053	5,125	424,178	△324,085	100,093
セグメント資産	4,882,787	129,997	5,012,784	1,310	5,014,095	—	5,014,095
その他の項目							
減価償却費	57,174	23,830	81,004	12	81,017	—	81,017

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額の内容は、△324,085千円は全社費用であり、その内容は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

【関連情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報「3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額に関する情報」をご参照ください。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報「3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産及びその他の項目の金額に関する情報」をご参照ください。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	報告セグメント			その他 (注)	全社・消去	合計
	港湾運送事業	自動車運送事業	計			
当期償却額	26,524	1,396	27,920	11	—	27,931
当期末残高	185,668	9,772	195,440	77	—	195,517

(注) 「その他」の金額は、保険その他の事業に係るものであります。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

	報告セグメント			その他 (注)	全社・消去	合計
	港湾運送事業	自動車運送事業	計			
当期償却額	26,524	1,396	27,920	11	—	27,931
当期末残高	159,144	8,376	167,520	66	—	167,586

(注) 「その他」の金額は、保険その他の事業に係るものであります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	393円83銭	1株当たり純資産額	461円89銭
1株当たり当期純損失(△)	△2円96銭	1株当たり当期純利益	25円07銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
損益計算書上の当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△18,379	155,816
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△18,379	155,816
普通株式の期中平均株式数 (株)	6,215,013	6,214,631
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

3 1株当たり当期純資産額の算定上の基礎

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	2,447,605	2,870,302
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	2,447,605	2,870,302
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末普通株式の数 (株)	6,214,806	6,214,631

(重要な後発事象)

該当事項はありません。